

リナグリプチンOD錠「JG」

服用される患者さまへ

このお薬は、インクレチンという血糖値を調節するホルモンの分解を防ぐことで、血糖値を下げる作用があります。

服用にあたっての注意

◆1錠を1日1回服用してください。

毎日決まった時間に、水またはぬるま湯で服用してください。

◆飲み忘れた場合は、気がついたときに1回分をお飲みください。

- ・ただし、次に通常服用する時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間から1回分を飲んでください。
- ・2回分を一度に飲まないでください。
- ・誤って多く飲んだ場合は、医師または薬剤師にご相談ください。
- ・医師の指示なしに、飲むのをやめないでください。

服用後の注意（副作用など）

◆まれに、強い空腹感、体のだるさ、冷や汗、皮膚蒼白（青ざめる）、手足のふるえがあらわれることがあり、これらは低血糖症の初期症状である可能性があります。

このような場合には、まず糖分をとりましょう。

症状の回復が見られない場合には、すぐに医師にご相談ください。

◆主な副作用として、便秘、腹痛、膨満感などが報告されています。

このような症状に気づいたら、医師または薬剤師にご相談ください。

ほかにも気になる症状がありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

この内容は、ご家族やまわりの方にもお知らせください。

裏面もお読みください

低血糖について

血糖値の低くなりすぎた状態が「低血糖」です。低血糖は、進行すると意識を失うこともあるため、気づいたら早めに対策をとる必要があります。

低血糖が起こる原因

- | | |
|--------------|-------------|
| ◆お薬の種類・量の間違い | ◆長時間の運動 |
| ◆食事の遅れ・量不足 | ◆お酒の飲みすぎ など |

低血糖の症状

低
血
糖
の
進
行

強い空腹感、脱力感、冷や汗、顔が青白い、
手足のふるえ、動悸、気分が悪い など

頭痛、眠気、強い疲労感、めまい、言葉が出ない、
動作がぎこちない、物が見えにくい など

意識を失う、けいれん、昏睡状態になる

低血糖の対策

- ◆早めに気づいて対処することで、重い低血糖症状を避けることができます。

まずは糖分を補給

症状がおさまらない場合

すぐに医療機関へ連絡

- ◆ α -グルコシダーゼ阻害剤を服用しているときに低血糖症状があらわれた場合は、砂糖ではなく必ずブドウ糖から糖分を補給してください。
- ◆高い所での作業や自動車の運転などを行っているときに低血糖を起こすと重大な事故につながる可能性がありますので、特に注意してください。